

# 交流し理解を サマスマ2017

## 鴻巣

鴻巣市のエルミパークで7月9日、「サマスマ2017」(NPO法人スマイルワーク主催、チャレシヨブセンター共催)が開催されました。ノーマライゼーション社会を目指し、地域文化の継承と障がい者と地域との交流を図る目的で開催され今年で4回目です。

イベントは鴻巣中学校(牧田卓司校長)のソールン隊30人による踊りで始まりました。リーダーの原和希君は「この日のためにみんなで練習してきました。少し緊張しましたが、どれもみな笑顔で楽しく演じられました。このようなイベントに参加でき良かったです」と笑顔で話しました。

メインイベントの盆踊りでは、小学3年以下の部と小学4年以上の部に分かれた100人を超え、参加者が、「いかに楽しく踊れるか」を競い、盛り上がった盆踊り



盛り上がった盆踊り

しく踊れるか」

「見ている人にアピールできるか」を競います。入賞者には豪華賞品が当たるとあって、『アンパンマン音頭』『ドラえもん音頭』『鴻巣音頭』『新鴻巣音頭』などをやぐらの助六太鼓に合わせて一生懸命に踊りました。入賞した石井博之さんは「びっくりしています。楽しかったし、うれしいです」と感想を述べました。

同実行委員長の野口芙美子さんは「地域との交流を大切に、障がいのある方の就労の門出をさらに広げ、当会の就労支援活動と障がいの理解が広がることを願います」と語りました。